



実習の季節



いちがお園には毎年たくさん実習生が来てくれます。高校生では久美浜高校や暁星高校、大学生では教職課程の介護実習や職場体験のインターンシップなどです。

今年の夏も高校生が3名、大学生が3名 計6名の方が実習に来られました。実習場所は特養やデイサービス、ヘルパー同行等様々です。実習生の皆さんからは実習後の振り返りを聞かせてもらいます。「ありがとうと言ってもらった」「実際に訪問することで、サービスの内容が理解できた」「ご利用者さんから戦争の話をきかせてもらった」など、実習中に得た貴重な意見を聞かせてもらっています。

受け入れ先の事業所もいろいろな体験ができるように様々な配慮をしています。短い時間に得る事はそれほど多くはないかもしれませんが、ひとつ心に残るようなことを持ち帰ってもらえたら、と思います。

今、介護の現場の人材不足は深刻です。介護の仕事を選ぶ動機のひとつに「中学校の時に体験学習に行き、介護の仕事に興味を持った」というものがあります。私たちも積極的に中学校や小学校に行き、福祉講話をしたり体験学習に来てもらったりしています。実際の体験から介護の仕事の魅力を感じてもらえたらうれしく思います。

介護の仕事の魅力発信をしつつ、いろいろな人たちに実習や体験をしてもらう場を提供していきたいと思えます。そしてやがて成長し、今度は共に働く仲間になってくれることを願ってやみません。



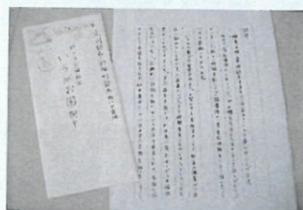
教えてさしあげたり



トランプしたり



介護男子を集めた本も出ました。介護は奥深い仕事です。こんなイケメン達が現場で頑張っている。頼もしい限りです。



終了後は丁寧な礼状が届きます。みなさ～ん また来て下さいね～



教えていただいたり

きっちゃ店「たいざ」



丹後町はお元気で長生きの方が多くいらっしゃる土地柄です。しかし、出かけて行く所がなかったり、「しょしゃ」がない、という声を聞かせてもらっていました。住み慣れた地域で元気でいてほしい。何かできる事はないか。

そこで、間人地区の区長さんや老人会さん、民生委員さん達と話をしして間人のスーパーの帰り道や、神社の掃除の後とかにちょっと寄ってお茶するところがあるといいなあ、ということになりました。

『間人あきばの里』の地域交流スペースがカフェに変身！
9月15日開店に向けて、只今準備中です。
毎週 火・木・土の10時から15時まで開店します。
気軽に来ていただけるように、玄関横から直接入れます。



行きたいけど、自分で行けない方には丹後町のデマンドバスがご利用できます。前日の予約になりますが、開店日はデマンドバスが走ります。どうぞご利用下さい。運賃は片道100円です。

老人車を停めるスペースはありますが車は停められません。あしからず



お菓子は置き菓子があります。100円です。

特製エコたわし

せっかく編んだエコたわし。有効に活用できないかと考えて、慰問等に来ていただいたボランティアさんにプレゼントしています。

ご利用者が俳句クラブや書道クラブで作られた作品をプリントして手芸クラブで作ったエコたわしと一緒に袋詰めします。

作業を分担しながら、ご利用者様にも「できること」はお手伝いしていただいています。ありがとうございます。



8月24日 在日米陸軍「軍楽隊」が慰問に来園されました。ご利用者の方にも馴染みのある楽曲を演奏していただき、楽しい時間をすごしました。

日米公式行事や広報活動で様々な音楽活動が行われているそうです

8月のボランティア様

- 特養** 女性の船様 井上尚樹様 天理教様
- デイ** つくしんぼ様 米軍楽隊様
- いわき** 京丹後市立丹後図書館 吉岡様 宗村様
- グループホーム** 心美会様 井上尚樹様
- クラブ** 東恵美子様 坪倉隆枝様 廣瀬保子様

ありがとうございました

9月の予定

- クラブの予定
- 生花 1日 手芸 4日 11日
 - 書道 7日
 - 12日 いわきの里 敬老会
 - 13日 特養敬老祝賀会
 - 14日 いわきの里合同茶話会
 - 15日 きっちゃ店間人 オープン
 - 18日 消防訓練
 - 19日 グループホーム敬老会
 - 21日 あきばの里敬老会
 - 29日 感染症研修会
 - 29日 いわきの里 合同消防訓練

家族会

お地藏さま、今年も前掛けを縫わせてもらいました。



7名のご家族さまとOBのご家族さまのご参加がありました。お互いの悩みや想いをお話してくださいました。経験による助言もありました。自分だけで抱え込まず、地域や施設と一緒にご本人を支えていく事の必要性を話し合いました。ありがとうございました。

7月茶話会

グループホーム

読み聞かせボランティアの皆さんにお世話になりました。「もったいないばあさん」の踊りで大盛り上がり！いわきの里恒例の「うめぼし体操」も大好評でした



光る紙芝居は、おもしろいわね。



次回は、9月14日（月）です。場所はグループホームです。是非いらしてください。お待ちしております。



あきばの里

8月11日は地域交流納涼祭を催し、小泊区の子供会さんを始め、区長さんや民生委員さん等たくさんの方があきばの里に来て下さいました。一緒にピンゴ等のゲームをしたり、昼食を食べられました。ご利用者の皆さんも地域のかたとのふれあいをとても喜んでおられました。



特養

医務より

看取り(ターミナルケア)

看取り(ターミナルケア)とは、終末期のケアのことをいいます。いちがお園でも、終末期に入られたご利用者で、ご本人やご家族が希望される方に対して看取りを行っています。対象の方は、いちがお園嘱託医が終末期に入ったと判断し、その状態等をご家族に(状態が許せばご本人も)ご説明し、いちがお園での看取りを希望される方です。

「穏やかな死を迎えたい」というのは、万人の望みです。看取り期の過ごし方や、最後の迎え方について、ご本人の希望を知り、ご家族にとっても悔いが残らないよう、前もって話し合いをしておく必要があります。

看取り期の始まり

- 日ごとに経口摂取が減り、食事の呑み込みが悪くなります。
- 活気がなくなり、ウトウトする時間が多くなります。
- 顔色が白っぽくなります。



看取り期の援助

- 手足をやさしくマッサージする。
- いつものように普段のお話をする。
- お気に入りの音楽を流す。
- 唇を水や好きな飲み物等でしめらせる。
- 食事は栄養を摂るのが目的ではなく、味を楽しむために好きな物を一口ずつすすめる



※看取り期の酸素吸入と点滴について

諸説ありますが、酸素不足、脱水、飢餓状態になると、脳から麻薬のような物質がたくさん出るので、見た目ほど苦しくありません。この時酸素吸入や、点滴などをするとかえって苦痛が強くなる場合があります。



特養では、看取り期の介護について、可能な限りご本人、ご家族の想いや希望に沿えるように定期的に勉強会を行っています。

1日1日を大切に過ごしていただき、安心・丁寧な看取りが出来ますよう精一杯お手伝いさせていただきます。

ご家族様が宿泊できる「家族宿泊室」も準備していますので、ご利用下さい